

令和3年度(2021年度)行政評価シート【個表】

令和3年7月21日

評価対象事業		評価者	議会総務課長	茶木 久美子
議会-01	議会事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	議会総務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	議事調査課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の円滑な運営と活性化を図るとともに、政策立案機能の強化を目指す。
効果	市民の声を反映した政策の実現が図れる。

2 令和2年度(2020年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬や期末手当等を執行した。 ・議員の政務活動等を支援した。 ・議会における庶務、経理事務を実施した。 ・正副議長の公務を支援した。 ・鎌倉市議会業務継続計画(議会BCP)の改定を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和2年度		令和3年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	議員報酬等執行事務	議員報酬、議員期末手当、市議会議員共済会負担金等	-	- / -	-	-	
02	政務活動等支援事務	政務活動費	-	241,845 / 272,581	269,130		
03	一般事務経費	消耗品費、電信料、費用弁償等	-	10,352 / 15,600	15,600		
04				- / -	-		
05				7,183 / 12,636	15,051		
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	259,380 / 300,817	299,781		
		事業費の合計(千円)		259,380 / 300,817	299,781		
		人件費(千円)		28,463	25,167		

4 この事業に関わる職員数(4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	3.5	3.0				
会計年度任用職員	1.5	1.5				

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由 >今年度は指標設定の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	議員報酬等執行事務	毎月、報酬の支払を行う事業であり、指標設定はなじまないため、行わないものとする。	市民のための地方自治を推進するため、市議会の円滑な運営を行うために必要な事業である。	正確に事業を実施していくこと。
02	政務活動等支援事務	政務活動を支援する事業であり、指標設定はなじまないため、行わないものとする。	市民のための地方自治を推進するため、議員の調査活動の充実強化を図ることは必要なことである。	更なる透明性の向上を図る。
03	一般事務経費	-	-	-
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
協働		協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
 議会の構成員である各議員の議会活動を維持・継続するため、今後も事業を継続する。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	政務活動費の収支報告書の内容・領収書のホームページの公開(領収書を公開…○、支出金額等の一覧のみ公開…△、未実施…×)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	南足柄市	横須賀市	逗子市
他市実績	△	△	○	△	△	○	○	△

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方

政務活動費の領収書等のホームページでの公開については、県内で公開している市が一部あるが、現在本市では、支出金額の一覧表のみを公開している。領収書等の公開については、政務活動費の透明性の向上の一つの方法として認識している。

令和3年度(2021年度)行政評価シート【個表】

令和3年7月21日

評価対象事業		評価者	議会総務課長	茶木 久美子
議会-02	広報・会議録作成発行事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	議会総務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	議事調査課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の正確な記録を残し、開かれた議会を目指す。
効果	市議会に対する市民の理解と関心が高まる。

2 令和2年度(2020年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりを作成・発行した。 議会ホームページ上の鎌倉市議会キッズページ(中学生以上向け)を更新し、内容の充実を図った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和2年度		令和3年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	議会広報事務	かまくら議会だより配布業務委託、印刷製本費	—	— / 4,344	— / 4,792	— / 4,766	
02				/	/		
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	/	/		
			一般財源	4,344 /	4,792	4,766	
		事業費の合計(千円)		4,344 /	4,792	4,766	
		人件費(千円)			12,013	8,389	

4 この事業に関わる職員数(4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.0				
会計年度任用職員	0.5	0.5				

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由 >今年度は指標設定の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	議会広報事務	議会からの情報発信を行う事業であり、指標設定はなじまなため、行わないものとする。	市民のための地方自治を推進するため、議会からの情報発信を充実させることは必要なことである。	より見やすい「議会だより」の紙面構成や、的確な情報提供を目指すこと。
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
 「開かれた議会」の推進を図るため、今後も継続して議会だよりの作成・発行を行う。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	議会広報紙の作成者(事務局・・・○、議員と事務局・・・△、議員・・・×)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	南足柄市	横須賀市	逗子市
他市実績	△	○	△	△	○	○	×	△

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方

議会だよりの内容の充実にに向けた検討を進めるため、作成主体についてベンチマークとして設定した。

令和3年度(2021年度)行政評価シート【個表】

令和3年7月21日

評価対象事業		評価者	議事調査課長	谷川 宏
議会-01	議会事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	議事調査課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	議会総務課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の円滑な運営と活性化を図るとともに、政策立案機能の強化を目指す。
効果	市民の声を反映した政策の実現が図れる。

2 令和2年度(2020年度)に実施した事業の概要

<p>・議会運営に係る議事・調査事務を実施した。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修参加に係る予算執行はなし。)</p>
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和2年度		令和3年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	議会運営事務	負担金	—	— / 0	— / 15	— / 15	
02				/	/	/	
03				/	/	/	
04				/	/	/	
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
09				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	/	/	/	
			地方債	/	/	/	
			その他特定財源	/	/	/	
			一般財源	0 /	15	15	
			事業費の合計(千円)	0 /	15	15	
			人件費(千円)		2,058	32,256	

4 この事業に関わる職員数(4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.1	4.0				
会計年度任用職員	1.0	1.0				

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由 >今年度は指標設定の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	議会運営事務	円滑な議会運営を行う事業であり、指標設定はなじまないため、行わないものとする。	市議会の円滑な運営を行うことが、市民自治の確立につながる。	本会議、委員会等の運営に関し、議会事務局職員の専門性の向上。
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
協働		協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・二元代表制の一翼を担う議会は、議事・議決機関として予算、条例、重要な契約などについて、市の団体意思を決定するとともに、執行機関の市政運営を監視し、事務執行をチェックする役割を果たしている。今後も市の重要な政策形成において地域特性や市民ニーズの反映するため議会の機能維持を図っていく。</p> <p>・議会の政策立案機能の強化を目指していく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)		単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度
	目標値		
	実績値		
	達成率		

指標(単位)		単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度
	目標値		
	実績値		
	達成率		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	議会基本条例の検証状況(検証結果とりまとめ:○ 検証体制あり:△) (令和3年3月31日時点)						
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	小田原市	横須賀市	逗子市	
他市実績	○	○	○	○	△	△	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	情報公開と市民参画を基本とした公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とした議会基本条例について、必要に応じて、検証を行う場を設けるなど、本条例の目的が達成されているかどうかを検証している。
----------------------	---

令和3年度(2021年度)行政評価シート【個表】

令和3年7月21日

評価対象事業		評価者	議事調査課長	谷川 宏
議会-02	広報・会議録作成発行事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	議事調査課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	議会総務課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の正確な記録を残し、開かれた議会を目指す。
効果	市議会に対する市民の理解と関心が高まる。

2 令和2年度(2020年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・本会議、常任委員会及び予算・決算特別委員会等の会議録の作成及びインターネット中継を行った。 ・議会一年の歩みの作成・発行を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和2年度		令和3年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	会議録等発行事務	本会議、常任委員会等会議録作成業務委託等	-	- / -	-	-	
				4,269 / 8,945	6,529		
02	インターネット中継事務	インターネット中継機器賃借料、配信業務委託料等	議会中継視聴者数(人)	73,500 / -	73,500		
				15,332 / 15,332	15,332		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	19,601 / 24,277	21,861		
			事業費の合計(千円)	19,601 / 24,277	21,861		
		人件費(千円)		45,993	25,817		

4 この事業に関わる職員数(4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	5.9	3.0				
会計年度任用職員	1.0	2.0				

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由 >今年度は指標設定の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	会議録等発行事務	本会議録は50日以内、委員会録は7か月以内に作成するという目標はあるものの、時期や年度により会議数に差があることから、標準的な目標期間としているため、指標設定は行わないものとする。	正確かつ迅速に記録を残すことにより、市民の理解と関心が高まり、開かれた議会につながっていく。	より正確かつ迅速に会議録の作成・発行に努める。
02	インターネット中継事務	市議会に対する市民の理解、関心を把握するため。	議会からの情報発信を充実させることにより、市民の理解と関心が高まり、開かれた議会につながっていく。	よりわかりやすい映像配信に努める。
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働		協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・本会議録、委員会録の作成は、地方自治法、会議規則及び委員会条例により作成が義務付けられている。委員会録については、7か月以内に作成するという目標が一部達成できていないため、事務手順の見直し等により迅速化を目指すとともに、目標期間の短縮も検討する。</p> <p>・本会議等のインターネット中継及び配信、会議録検索システムによる会議録のホームページへの掲載については、議会基本条例において、積極的な情報発信と情報共有を推進し、説明責任を十分に果たすよう努めることが規定されていることから、内容を充実させていく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	議会中継視聴者数(生中継及び録画中継)(1時間単位の視聴者の延べ人数)						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市議会に対する市民の理解、関心を把握するため。	目標値	—	73,500					
	実績値	73,500						
	達成率	—						

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	議会広報におけるフェイスブック、ツイッターの活用(実施済:○ いずれか実施:△ 未実施:×)(令和3年3月31日時点)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	横浜市
他市実績	△	×	△	×	×	△	×	○
	フェイスブック		フェイスブック			フェイスブック		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	開かれた議会の実現に向けて、市議会による情報発信ツールの先進的な取組を調査研究していく。
----------------------	--